令和５年度 第５回町民ワークショップ

テーマ「実施計画素案を確認し、跡地に相応しい管理運営体制について調査研究する」

■日時・場所

令和６年１月２９日（月）１８：３０～２１：３０　ＣＯＢＡＣＯ～コバコ～

■参加者

９名

■内容

実施計画素案について、計画の構成、基本的な機能の配置と動線、整備イメージとその方向性を説明した上で、意見交換を行った。また、12月に実施した障がい児の保護者アンケート調査結果について、情報を共有した。

跡地整備における整備手法や管理運営体制の考え方等について意見交換を行った。

■スケジュール

|  |  |
| --- | --- |
| 時間 | 実施内容 |
| 18：30～ | ○開会、あいさつ |
|  | ○本日の進め方について |
|  | 〇実施計画素案についての説明と意見交換 |
|  | 休憩 |
|  | ○管理運営の方向性についての説明と意見交換 |
|  | ○今後のスケジュール |
| 21：30 | 〇閉会 |

■主な意見

１）計画素案について

・本計画素案のゾーニングや整備の方向性について、これまでの話し合いの結果が整理されていることを確認した。主な意見は以下の通り。

・タイトルは「一緒につくろう、みんなの居場所プロジェクト」とする。

・白鳳山、磐梯山、飯豊山を借景として生かしたい。

・防災面も対応すべき（街灯、監視カメラ等）。

・周辺道路の安全確保が必要（カーブミラー等）。桜並木側も狭いので歩道をとれるとよい。

・建物は北側が良いと思うが、建物配置の条件を示してほしい。

・ミサトベースと建物（南側配置）により、空間的に安全の目が網羅的になる点で現状案は良い。

・中高生の居場所はどこにあるのか。

・緊急道路を確保する必要があるのではないか。

・「インクルーシブ」の対応は、障がいのある方に限らず、子どもにも、町民にもやさしいものであり、進めてほしい。

・インクルーシブについて、これを機会に皆でしっかり学習して、町全体に考え方が広げたい。

・専門的な部分は専門家に任せるとして、重要なので、これまでの町民の想いをいかに計画に入れ込むか。

・本郷庁舎に移転した生涯学習センターとの役割分担をよく考えた方が良い。

・生涯学習センターの機能を踏まえると、この場所の建物には最低限の機能で良いのではないか。

２）計画策定の過程、運営、コスト等について

・完成してからではなく、計画段階から町民が関わるとしらけなくて良い。例えば、公園の名づけコンテストで子どもたちを巻き込むなど。

・来年度はWSメンバーを入れ替えてもよいのではないか。

・この場所をどう生かしていくか、どうやってみんなで作っていくのか、運営が重要である。

・予算が心配である（計画が縮小してがっかりする恐れがあるため）。受益者負担で建物等の利用料を徴収してもよい。

・この場所を持続可能にさせていくことが重要。コスト、予算をどこから持ってくるか。例えば、ソーラーを設置すると初期投資はかかるが、維持管理費を抑えられるので、トータルでコストダウンできる。計画当初からトータルでコストを見る必要がある。また、必要な管理も見えてくる。

・指定管理のタイプCをめざして柔軟にできるとよい。地域おこし協力隊を活用し、初動の3年間の運営を担ってもらうのはどうか。

　